



毎日ジメジメ、ムシムシと、うっとうしい日が続いていますが、あと少しで皆さんが楽しみにしている夏休みです。夏休みには本をたくさん読んでみましょう。図書室の夏休み前後の予定を連絡します。ぜひ、有効活用してください。また、夏休み中は多古町立図書館も利用してみましょう。



## 夏休み前の特別貸出

期間 7月10日(水)～19日(金)  
冊数 5冊まで  
返却 9月6日(金)までに返却すること  
(注) 延滞している本がある人は夏休み特別貸出をすることができません。先に返却をしてください。



## 夏休み中の開館日

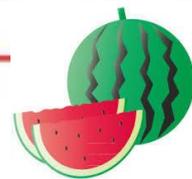
8月7日(水)～9日(金)  
開館時間 9:00～16:00  
図書室で勉強することができます。  
読書感想文や各教科の課題を先生方に相談しながら進めませんか？



8月29日からの本の貸出について  
夏休み前に借りていた本や特別貸出で借りた本をすべて返却した人から、通常の貸出を再開します。

## お願い

夏休み中にコンピュータシステムの更新をします。そこで、返却期日を過ぎている本を持っている人は、夏休み前に必ず返却をしてください。



## 7月26日は幽霊の日

### <幽霊が出てくる本>



『東海道四谷怪談』 平田喜信：監修  
夫に裏切られたお岩が幽霊となって復讐する鶴屋南北の歌舞伎の脚本。まんがで手軽に読める。

『幽霊があらわれた』 シリアン・クロス：作  
イギリスの中学生が「スウィート・フリート街の悪魔の床屋」という劇の稽古をしていると、ピクトリア朝のしいたげられた子どもたちが現れ、不思議な事件が次々に起こる。

『レイさんといた夏』 安田夏菜：著

東京から兵庫県に転校した莉緒は、汚部屋にこもりっきりの夏休みを過ごしていた。そんな莉緒の前に、ヤンキー少女の幽霊が現れた。莉緒は彼女を成仏させるために、身元探しを手伝わされるはめになるのだが…。

1825年の7月26日、「東海道四谷怪談」が初演されたことに由来します。「四谷怪談」は江戸時代に実際にあった事件をモデルにしたといわれ、今でも公演を行うと、たたりがあると信じられています。そのため、興業前に関係者は必ず四谷のお岩稲荷にお参りするしきたりになっているそうです。

